

KINJO
COLLEGE

金城大学短期大学部
ビジネス実務学科・美術学科・幼児教育学科

2025年度
(令和7)

**入学者選抜
試験問題**

金城大学短期大学部の 2025年度入学者選抜試験問題をお届けいたします。

一度試験問題に目を通してみてください。基本的な内容の問題です。

受験前には、高校の教科書を中心として復習してください。

本学は、一般選抜であっても面接の配点を多くし、
また重要視しておりますので、面接試験の準備もしっかりと
行ってください。

それでは試験会場で、皆さんの清々しい姿にお会いできることを
楽しみに待っています。頑張ってください。

CONTENTS

金城大学短期大学部 2025年度 入学者選抜試験問題

小論文 学校推薦型選抜[奨学生]	1
鉛筆イラスト〈美術学科〉学校推薦型選抜[奨学生]	3
鉛筆デッサン〈美術学科〉学校推薦型選抜[一般／専門学科・総合学科]	4
創作文〈美術学科〉学校推薦型選抜[一般／専門学科・総合学科]	5
小論文 総合型選抜[自己アピール型]	6
鉛筆イラスト〈美術学科〉総合型選抜[自己アピール型]	8
鉛筆デッサン〈美術学科〉一般選抜	9
国語 一般選抜	10
国語 一般選抜 解答例	14
英語 一般選抜	15
英語 一般選抜 解答例	23

※各科目の「解答例」の内容は、株式会社栄美通信によるものです。

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験

小論文〈ビジネス実務学科〉(学校推薦型選抜[奨学生])

次の3つのテーマから1つ選んで、自分の意見や考えを800字以内で述べなさい。

(制限時間60分)

1.ノーベル平和賞と世界の現状

先日、日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)がノーベル平和賞を受賞した。日本被団協は1956年に発足し、核兵器の廃絶などを訴え続けてきた。一方で、世界各地では戦争や紛争が絶えない現状がある。この受賞により、今後どのように世界が変わると期待されるか、あなたの考えを述べなさい。

2.過疎化地域における災害と復興

今年1月には能登半島地震が発生し、9月には豪雨による水害が発生した。過疎化が進む能登地域における度重なる災害は、さらなる人口減少が懸念される。過疎化地域での復興に向けてどのようなことが必要か、多方面からの視点で述べなさい。

3.AIでの解決が期待される社会問題

AI(人工知能)の進展が著しい。AIを使えば何でも解決できると思わせるような情報も氾濫しているが、実際にAIを利用することでどのような社会問題の解決が期待されるか。AIの特性を考慮して具体的な活用方法を述べなさい。

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験

小論文〈幼児教育学科〉(学校推薦型選抜[奨学生])

保育(幼児教育)における「気になる子」とは、どのような子どもだと思いますか？あなたが知っていることや考えることを述べなさい(字数720～800字)。

(制限時間60分)

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験

小論文〈美術学科〉(学校推薦型選抜[奨学生])

アナログ作品とデジタル作品について、あなたが今後制作していきたい作品と関連させて800字以内で書きなさい。

(制限時間60分)

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験

鉛筆イラスト〈美術学科〉(学校推薦型選抜[奨学生])

●以下の言葉から想像する場面を自由に表現してください。

〔制作時間:2時間〕

「 ∞ 」

あなたは、 ∞ (無限)という記号の意味や形からどんなことを想像しますか？

∞ (無限)には、「どこまで行っても果てが無いこと」「数・量・程度の限りが無いこと」の意義があり、宇宙や欲望などを想像するかもしれません。また、「メビウスの輪」とも呼ばれ、変化し続けることや、輪廻のような解釈もされます。また、形状を見てみると、繰り返して繋げることによって、鎖やDNAのようにも見えます。

この言葉の意味や形状などを自由に捉えて、イメージを膨らませてイラストレーションを完成させてください。

-
- 鉛筆を用い、単色で仕上げてください。
 - 用紙の裏に作品の題名を書いてください。
 - 用紙の裏に制作意図を100字程度で説明してください。
 - 必要ならば、絵の中に文字を書き加えても構いません。

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験

鉛筆デッサン〈美術学科〉(学校推薦型選抜[一般／専門学科・総合学科])

●目の前の卓上に組まれた静物モチーフ(2点)を描写してください。

〔制作時間:2時間〕



※注意事項

- 鉛筆で仕上げてください。
- デスケル・測り棒など、計測道具の使用は自由とします。
- クロッキー帳への下描き・写真撮影はできません。

創作文問題(美術学科)(学校推薦型選抜[一般/専門学科総合学科])

以下の文章で始まるストーリーを八百字以内で創作してください。

[illegible]

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験

小論文〈ビジネス実務学科〉(総合型選抜[自己アピール型])

次の3つのテーマから1つ選んで、自分の意見や考えを800字以内で述べなさい。

(制限時間60分)

1. デジタルトランスフォーメーションのメリットとデメリット

コロナ禍で多くのことが電子化された。紙の書類はデータファイルに置き換わり、現金は電子決済へと変わりつつある。その一方で、紙の教科書が見直されたり、新紙幣が発行されたりなど、すべてが電子化されることはなさそうである。身近で電子化されたものをあげ、それらのメリット・デメリットについて自分の考えを述べなさい。

2. 脱化石燃料に向けたエネルギー政策

地球の平均温度が、産業革命後1.5度上昇した。最大の原因は化石燃料の大量消費である。一方で、私たちの生活にエネルギーは欠かせないので、何らかの方法で得る必要がある。化石燃料に代わるものとして自然エネルギーやバイオ燃料、原子力などが注目されているが、これらをどのように使用するのが理想的か、自分の考えを述べなさい。

3. 人口減少と限界集落

地方では人口が減少し、過疎化が進んでいる。特に、65歳以上の人口が50%を超える限界集落が問題視され、消滅の危機が叫ばれている。このような中、10代、20代の若者ができることは何か、自分の考えを多方面から述べなさい。

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験

小論文〈幼児教育学科〉(総合型選抜[自己アピール型])

子どもから信頼される保育者となるためには、どのようなことが大切だと思いますか。

あなたの考えを具体的に述べなさい(字数720～800字)。

(制限時間60分)

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験

小論文〈美術学科〉(総合型選抜[自己アピール型])

美術作品における「価値」とは、どのようなものだと思いますか。

自分にとって価値のある作品、社会的に価値のある作品、歴史的に価値が認められた作品などを例に挙げながら、あなた自身のこれからの創作活動と関連付けて論じてください(800字以内)。

(制限時間60分)

金城大学短期大学部 2025(令和 7)年度入学者選抜試験
鉛筆イラスト〈美術学科〉(総合型選抜[自己アピール型])

●以下の言葉から想像することを自由に表現しなさい。

〔制作時間:2時間〕

「ふわふわ」

「ふわふわ」と聞いて何を思い浮かべますか。

ふわふわな雲、動物のふわふわ、こんなことがあったらいいなと思い浮かべたものでも構いません。

人、物、場所、時間など表現するものは問いません。

いろんな「ふわふわ」をイメージして自由に表現してください。

●鉛筆を用い、単色で仕上げてください。

●用紙の裏に作品の題名を書いてください。

●用紙の裏に制作意図を100字程度で説明してください。

●必要ならば、絵の中に文字を書き加えても構いません。

金城大学短期大学部 2025(令和7)年度入学者選抜試験
鉛筆デッサン〈美術学科〉(一般選抜)

●目の前の卓上に組まれた静物モチーフ(3点)を描写しなさい。

〔制作時間:2時間〕



※注意事項

- 鉛筆で仕上げてください。
- デスケル・測り棒など、計測道具の使用は自由とします。
- クロッキー帳への下描き、写真撮影はできません。

二〇二五（令和七）年度 金城大学短期大学部入学者選抜試験問題

国語総合

一般選抜

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（問題作成上、原文を一部変えたところがあります）

二〇二〇年からのコロナ禍によって、私たちの社会は大きく変わりつつある。友人や家族と話すこと、遊ぶこと、一緒にいること、仲間と一緒に仕事をする、世界を往来すること。それまでこの社会で当たり前で基礎的であった活動の多くが当たり前のことではなくなった。孤立した人々を結ぶ技術も、^①オオババに発達したが、孤立した世界では大きな対立も生まれてしまっている。私たちは、今もその変化のただなかにある。

経済や経営の分野でも多くの変化をみることができる。その一つとして、「応援消費」という言葉が市民権を得て日常的になってきた。二〇二〇年上半期には、^②例の日経Mジヒット商品番付で東の大関にもなった。二〇二〇年一二月五日の朝日新聞では、応援消費をしたことがあるかどうかの調査結果が紹介されている。一五八一人のうち半数を超える五二％が応援消費をしたことがあり、さらに「いいえ」と答えた人のうち五三％は機会があればやりたいと答えたという。

応援消費の具体的な中身はさまざまである。例えば、東日本大震災の際には、義援として東北産のリンゴを購入する人たちがいた。観光で被災地に赴くことも応援消費になる。今では被災地だけではなく、コロナ禍で困っている店舗はもちろん、休業しているライブハウスやアーティストを支援する動きや、^Aクラウドファンディングやふるさと納税を行うこともまた、応援消費とよばれる。好きなブランドの化粧品を「支援・応援のために」公式店舗や^③ツクベンで買ったり、「推し」のアイドルを積極的に支えるために消費することもまた、応援消費になる。

二〇二〇年一二月一二日の日経Mジでは、「演劇から飲食店、化粧品——。応援消費はあらゆる分野に広がる」とある。応援消費という言葉自体は知らなくても、言われてみれば「この買い物には応援の意味を込めていた」と気づくこともあるだろう。

周りの学生に聞いてみても、応援消費という言葉の意味は多様である。「買うことで生産者や作り手を応援できるという考え方」「例えば、好きなアーティストのCDやグッズを大量購入したり、被災地の産物を積極的に購入したりすること」「あまり聞いたことはないが、オタクとよばれるような人たちの購買行動だと思っていた」「BTSを推していた。応援消費にあたる」「自分にも物質的・精神的利益が生じる行動である」「自分も得をしつつ社会に貢献できる、社会にちよつといいことができるという（^B）のような仕組み」「寄付よりも^④ラガルで、やりやすいメリットがある」などなど。

こうして様々に使われるようになった応援消費という言葉ではあるが、とはいえ改めて考えてみると変わった言葉だ。そもそも私たちは何のために日々の消費行動を行っているのだろうか。例えば、今日のお昼はイタリアンでも食べようと思うとき、私たちは何のためにその料理を食べるのだろうか。おいしそうだから？ 人気店だから？ 生きるため？ この問いは、実は非常に奥深い。少なくとも誰かや何かを「（^C）」という選択肢は、すぐに出てくるようには思えない。（中略）

本書の見立てでは、応援することと消費することとを結びつける論理や、あるいはその結びつきを当然のものとしなす考え方は、震災や新型コロナウイルス流行によって突然広まったというわけではない。新型コロナウイルス流行とは関係なく、もう少し長期的な歴史において、応援することと消費することとを結びつけようとする論理が社会に^⑤シフトしていたとみることができる。

（^D）私たちが長らく生きてきたこの社会、資本主義を基礎として発展してきた消費社会がそれである。

この消費社会では、経済活動が社会の重要な基礎を成している。経済が大事であることを疑う人は少ないが、人類の歴史において、経済が常に重要だったというわけではない。家族や、政治や、学問の方が重要だった時代もあるだろう。だが、今ではこれらの問題もまた経済の問題として捉えることができる。家族をつくり維持するためには経済力が欠かせない。政治の最大の問題も景気である。学問も同様であり、研究費の獲得額が学力の指標となってしまう。

こうした何でも経済の問題として見なすことができるようになっていく力は、今日では新自由主義とも呼ばれる。新自由主義という言葉は資本主義や消費社会よりも広い文脈で様々に使われるが、一つには、経済の発展を目指しながらさまざまな対象に市場原理の導入を推し進めようとする考え方である。

こうした考え方が本書の興味の対象でもある。つまり、応援すること、支援すること、誰かを助けること、これらが消費という経済活動と結びつけられ、必然のつながりを有するようになっていくことに興味がある。それはおそらく、コロナ禍においていよいよ^⑥顕在化した新しい段階の消費社会を示している。

人によっては、応援消費はもつと純粋なものではないか、という方もいるだろう。応援消費に限らず、近年ではエコ消費や※エシカル消費、あるいは推し消費も含め類似した消費行動にも注目が集まるようになっていく。こうした新たな消費行動は、この社会をより良い方向に動かす力となるのかもしれない。被災地の困難を他人事とは思えないというこの気持ち、あるいは好きなアーティストのためになりたいというこの気持ちは、誰にとつてもおそらくかけがえのないものである。それなのに、一方でこれら消費行動が経済や新自由主義に関わっているという、^E何か大震災にすぎない不気味なもののように感じられるかもしれない。

この感覚は正しい。本書を通してみていくのは、この純粋さと経済の論理が対立し、時に協調していく歴史である。同時に、^F今の時代にあつては、経済と切り離された応援や支援は存在しにくくなっているのであり、経済との折り合いをどのようにつけていくのかの方が重要になっている。

応援消費は、こうした折り合いの付け方について、社会をより良い方向に動かしていく力となる可能性とともに、^G逆に社会に影響を与えてしまうような力も備えている。

※エシカル消費：「人や社会、地域、環境などに優しいモノ」を購入する消費行動やライフスタイル

（水越康介『応援消費——社会を動かす力』）

問一 傍線部①～⑥の、カタカナを漢字で、漢字の読みをひらがなで答えなさい。

①		②		③		④		⑤		⑥	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問二 傍線部 A について、その語句の意味を答えなさい。

問三 空欄 B について、最もあてはまることわざを記号で答えなさい。

ア、朝三暮四 イ、一期一会 ウ、唯一無二 エ、一石二鳥

B	
---	--

問四 空欄 C に最も当てはまる言葉を考えて答えなさい。

C	
---	--

問五 空欄 D に最もあてはまる接続詞を選択肢から選んで、記号で答えなさい。

(ア、だから イ、すなわち ウ、そして エ、しかし)

D	
---	--

問六 傍線部 E について、その理由を答えなさい。

問七 傍線部 F について、その理由を答えなさい。

問八 傍線部 G について、悪影響の例を自分で考えて答えなさい。

【三】次の俳句を読んで、後の問いに答えなさい。

- A

摩天楼より新緑が（ 1 ）ほど

鷹羽狩行たかばしろうぎやう
- B

除夜の妻（ 2 ）のごと湯浴みをり

森澄雄もりすみお
- C

（ 3 ）の如くに蚪蚪の列進む

野見山矢鳥のみやまやすか
- D

咳き込めば我（ 4 ）のごとくなり

川端茅舎かわはたけぼしや
- E

螢火や（ 5 ）のごとき母の脈

石田波郷いしだはまこう
- F

雪を来て夜のコップに（ 6 ）の森

横山白虹よこやまはくこう

※ 蚪蚪（かと）＝蛙の子で、おたまじやくしのこと。

問一 俳句 A ～ F の（ ） 1 ～ 6 に入る語を、次の選択肢からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア セロリ イ 火の玉 ウ 白鳥 エ 巡礼 オ ペセリ カ 疾風はやて

問二 問一の 1 ～ 6 はすべて比喩であるが、1 のような比喩、2 のような比喩を何というか。次の選択肢からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 直喩 イ 隠喩 ウ 換喩 エ 擬人法

問三 俳句 B ・ C ・ E の傍線部は季語であるが、季節（春 夏 秋 冬 新年から選ぶ）を答えよ。（季節は二つとも異なる）

問四 俳句 A ～ F から、切れ字を一つ抜き出して、答えなさい。

問五 A の「摩天楼」と E の「螢火」の読み仮名を、ひらがなで答えなさい。また、「摩天楼」の意味も記しなさい。

問一	1		2		3		4		5		6	
問二	1		2		問三	B		C			E	
問四				問五	A		E		A意味			

二〇二五（令和七）年度 金城大学短期大学部入学者選抜試験問題 解答例

国語総合

一般選抜

- 【一】 問一 ① 大幅 ② こうれい ③ 通販 ④ 手軽 ⑤ 浸透 ⑥ けんざいか
- 問二 インターネットを使って、不特定多数の人々から少額ずつの資金を調達する仕組み。
- 問三 エ
- 問四 応援する
- 問五 イ
- 問六 個人的で純粋な行為である応援消費は、経済や新自由主義といった資本主義的な要素とは関係ないように思えるから。
- 問七 今の私たちの社会は、資本主義を基礎とする消費社会であり、経済活動が重要な基礎を成しているから。
- 問八 例・消費を伴わない応援には価値が無いとする発想が広がる。

- 【二】 問一 今はAIによる記憶のアウトソーシングの時代であるが、記憶は現在や未来の意思決定のガイドラインとなり、その働きが判断力となる。AIの完璧な記憶力に比べると貧弱だが、貧弱だからこそ記憶が変容し判断力も柔軟に修正される。知ることの喜びや楽しさを味わい、貧弱な記憶力を改善することが大切である。私もAIにすべてを任すのではなく、知的好奇心を大切に、貧弱な記憶力を更新して判断力を磨き、豊かな人生を送りたい。

- 【三】 問一 1 オ 2 ウ 3 エ 4 イ 5 カ 6 ア
- 問二 1 イ 2 ア
- 問三 B 冬 C 春 E 夏
- 問四 や
- 問五 A まてんろう
A E ほたるびろう
A 高層建築物

配点200点	
問一	(各4点×6=24点)
問二	(12点)
問三	(6点)
問四	(8点)
問五	(6点)
問六	(16点)
問七	(16点)
問八	(12点)
問一	(40点)
問一	(各4点×6=24点)
問二	(各4点×2=8点)
問三	(各4点×3=12点)
問四	(4点)
問五	(各4点×3=12点)

※美術学科の配点は100点換算とします

2025(令和7)年度 金城大学短期大学部入学者選抜試験問題

英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ(リスニングを除く)〕

一般選抜

問Ⅰ 次の(1)～(3)の各語と下線部の発音が同じものを、右の〔 〕内の①～④のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- (1) **approach** [① abroad ② draw ③ wood ④ home]
(2) **reason** [① feather ② routine ③ recognize ④ gender]
(3) **increase** [① loose ② pause ③ praise ④ surprise]

問Ⅱ 次の(1)～(3)において、第一アクセント(第一強勢)の位置がほかの三つと異なるものを、それぞれ①～④のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- (1) ① brilliant ② hazard ③ program ④ expand
(2) ① talented ② interest ③ dynamic ④ adequate
(3) ① optimistic ② appreciate ③ geography ④ analysis

問Ⅲ 次の英会話文の()の中に入れるのに最も適切なものを①～④のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- (1) A : Where shall we (ア) our next vacation?
B : How about somewhere (イ) away and warm?
A : If you (ウ) the money, I will take care of the planning.
B : Nice try. You know we always split things (エ).

- ア ① trip by ② go on ③ travel at ④ holiday at
イ ① nice ② sunny ③ far ④ go
ウ ① provide ② start ③ return ④ put
エ ① between ② two ③ even ④ 50-50

(2) A: What is the best way to get to Central Park?

B: ()

- ① Take the bus.
- ② I show you!
- ③ Taxi is faster.
- ④ It is near the city hall.

(3) A: Which one of these cups do you want?

B: ()

- ① Give it to me.
- ② I really like the blue cup.
- ③ Please buy them.
- ④ I don't have any cups.

(4) A: ()

B: Yes, for about ten years.

- ① How much time are you friends with him?
- ② Have you known him long?
- ③ How old were you when you met her?
- ④ Does it take long to learn to play that instrument?

(5) A: When you leave the building, be sure to turn off the lights and lock the door.

B: ()

- ① Yes, I will turn and lock.
- ② Please leave the building, turn off the lights, and lock the door.
- ③ May I leave?
- ④ I will do so.

問Ⅳ 次の英文を読んで、各設問の答えとして最も適切なものを①～④のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

Mr. Smith of the ABC Company interviews people for a computer programmer job

MR. SMITH (to his secretary): Ms. Jones, I am ready to begin the job interviews. How many people are in the waiting room?

MS. JONES: There are three adults and one little boy.

MR. SMITH: Oh, that is odd! Please send in the first applicant. (First applicant, MR. BROWN, enters.)

MR. BROWN: Good morning, my name is John Brown.

MR. SMITH: Take a seat, Mr. Brown.

MR. BROWN: Here is my *resume.

MR. SMITH: Thank you. (Looks at resume) I see here that you have 20 years' experience as a construction worker, but no experience as a computer programmer.

MR. BROWN: Yes, I am a very good construction worker. I can hammer, saw, and carry heavy things.

MR. SMITH: Can you program a computer?

MR. BROWN: No, I can't.

MR. SMITH: But this job opening is for a computer programmer.

MR. BROWN: Oh, dear. Isn't this the CBA Company?

MR. SMITH: No, this is the ABC Company. The CBA Company office is down the hall on the left.

MR. BROWN: So sorry! Goodbye!

MR. SMITH: Ms. Jones, please send in the next applicant. (MS. RYAN enters, carrying many doughnuts.) Please take a seat.

MS. RYAN: No, thank you. Now, what kind of doughnuts would you like?

MR. SMITH: Excuse me?

MS. RYAN: What kind of doughnuts would you like? And how many?

MR. SMITH (*frustrated): I do not want any doughnuts! This is a job interview for a computer programmer!

MS. RYAN: Well, then why did you order doughnuts and not buy any? How rude of you to waste my time. (Angrily) I am never coming back to the BCA Company to sell doughnuts again!

MR. SMITH: This is not the BCA Company, this is the ABC Company. The BCA Company is down the hall on the right.

MS. RYAN: Oh, so sorry. Here, have a free doughnut. Goodbye! (She gives him a doughnut and leaves. A man and a little boy enter.)

MR. SMITH: Are you here to apply for the computer programmer position, sir?

MAN: No, I do not need a job. I am happy in my current job.

MR. SMITH: Well, then get out and take your son with you!

BOY: Just a moment! I am the one who is applying as a computer programmer. (Hands Mr. Smith his resume.)

MR. SMITH: You? You are just a little boy. (Looks at resume) Oh, wow! Amazing! Fantastic! Unbelievable! Sir, I would like to hire your son to work here at the ABC Company!

MAN: I am not his father, I am his driver.

BOY: ABC Company?! I came to apply for a job at the ACB Company!

MR. SMITH: The ACB Company is down at the end of the hall. But we would...

BOY: Oh, then goodbye! May I have that doughnut? (The BOY takes the doughnut and leaves.)

MR. SMITH: Wait, wait! (Sits down at his desk and cries)

*resume : 履歴書 *frustrated : いらいらしている

(1) What is Mr. Brown good at?

- ① He can hammer.
- ② He can repair computers.
- ③ He has worked for 20 years.
- ④ He works for the CBA Company.

(2) Why is Mr. Smith frustrated?

- ① Because he wanted more doughnuts.
- ② Because he cannot succeed in hiring a computer programmer.
- ③ Because he has to pay for doughnuts.
- ④ None of the above.

(3) Why does Ms. Ryan get angry?

- ① Mr. Smith does not like doughnuts.
- ② Mr. Smith does not hire her to be a computer programmer.
- ③ Mr. Brown was rude to her son.
- ④ She thinks that Mr. Smith ordered doughnuts but then decided not to buy any.

(4) How come the MAN does not bring his resume?

- ① He left it in his car.
- ② The boy is his son.
- ③ He is not applying for the job.
- ④ He wants to work for the CAB Company.

(5) Why does Mr. Smith cry?

- ① He cannot find a job.
- ② He will lose his job.
- ③ None of the people wants to work at the ABC Company.
- ④ Ms. Ryan's doughnut was not tasty.

問Ⅴ 次の英文を読んで、各設問の答えとして最も適切なものを①～④のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

When Kayoko Nakane was a teenager, she didn't think she would work with English in the future. "I was raised by my grandmother because my parents were busy," says Nakane, who is now an interpreter and a university teacher in Nagoya. "My grandmother was born long ago and could only write in katakana. When I started school, I wasn't very confident in writing Japanese."

Nakane started learning English in junior high school. She enjoyed it but says, "I wasn't very good at it." Even though it was difficult, she stayed interested. "In junior college, I passed the Eiken Level 2 exam. When I started working, I listened to NHK Radio's English Conversation program."

But after getting married, she stopped focusing on herself. "Back then, I had to take care of the house and children by myself." When she was 38 years old, Nakane realized she needed something for herself. "I wanted to do something for me. If I didn't try to change my life, I would regret it later." So she decided to study English again. Nakane started by buying a business English book and listening to NHK Radio. She also joined a class at her old junior college. "I made time to study, even if it was only 15 minutes a day. If I couldn't study, I felt unhappy. But when I made progress, I felt happy."

People think Nakane has been an interpreter for a long time, but she started later in life. Now, she works as an interpreter, teaches at a university, and continues studying English. "Interpreting and studying English go together. You never stop learning as an interpreter," she says.

(1) Why was Kayoko Nakane brought up by her grandmother?

- ① Her parents passed away.
- ② Her parents were busy.
- ③ She wanted to study Japanese.
- ④ She didn't want to live with her parents.

(2) When did Nakane start learning English?

- ① In junior high school.
- ② After she became an interpreter.
- ③ When she got married.
- ④ In elementary school.

(3) What did Nakane realize when she was 38 years old?

- ① She wanted to stop working.
- ② She needed to focus on her family more.
- ③ She wanted to do something for herself.
- ④ She decided to quit studying English.

(4) What does Nakane say about being an interpreter?

- ① Interpreters need to keep studying English.
- ② Interpreters only need to know Japanese.
- ③ It's an easy job that anyone can do.
- ④ You don't need to study once you start interpreting.

問Ⅵ 次の各英文がそれぞれ完成した文章になるように、その文意に沿って下にある 1～5 を並べ替えなさい。そして 2 番目と 4 番目に来る語句をその番号で答えなさい。

(1) The presidents () the meeting between the two companies.

1. hands 2. with 3. at 4. shook 5. each other

(2) Manabu has started using a new brand of coffee beans. The new beans () old ones, but his family loves the taste of them.

1. as the 2. are 3. expensive 4. twice 5. as

(3) A: I just went to the shop to buy some cups of ice cream. I got one for you.
B: You did? It () one for me. I love ice cream!

1. kind 2. to buy 3. of 4. you 5. was

- (4) Students, that's the end of today's lesson. Please () class has been canceled because of the preparation for the school festival.

1. tomorrow's 2. mind 3. keep 4. in 5. that

- (5) A: What time shall we go out for dinner?

B: Any time is fine. I'd be happy to go out ().

1. want 2. whenever 3. leave 4. to 5. you

問Ⅶ 次の英文の問いに 30 語以上の英文で答えなさい。

Japan has many wonderful travel destinations which attract many tourists every year. Write about a place you have visited or a place you hope to visit in Japan. Describe the place, and some of the things for which it is known.

2025(令和7)年度 金城大学短期大学部入学者選抜試験問題 解答例

英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ(リスニングを除く)〕

一般選抜

問Ⅰ	(1) ④	(2) ②	(3) ①
----	-------	-------	-------

問Ⅱ	(1) ④	(2) ③	(3) ①
----	-------	-------	-------

問Ⅲ	(1)-ア ②	(1)-イ ③	(1)-ウ ①	(1)-エ ④
	(2) ①	(3) ②	(4) ②	(5) ④

問Ⅳ	(1) ①	(2) ②	(3) ④	(4) ③	(5) ③
----	-------	-------	-------	-------	-------

配点200点		
問Ⅰ	(各4点×3=12点)	
問Ⅱ	(各4点×3=12点)	
問Ⅲ	(1)	(各2点×4=8点)
	(2)~(5)	(各6点×4=24点)
問Ⅳ	(各8点×5=40点)	
問Ⅴ	(各8点×4=32点)	
問Ⅵ	(各8点×5=40点)	
問Ⅶ	(32点)	

※美術学科の配点は100点換算とします

問 V	(1) ②	(2) ①	(3) ③	(4) ①
-----	-------	-------	-------	-------

問 VI	(1)		(2)		(3)	
	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目
	1	5	4	3	1	4
	(4)		(5)			
	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目		
	4	5	5	4		

問 VII	解答例①
	<p>I want to go to Hokkaido. In winter, I would go snowboarding at some of the big ski resorts there.</p> <p>I also want to see the ice sculpture festival there. In summer, there are many beautiful places in the countryside. I want to eat Sapporo Ramen, and of course eat crabs and other fresh seafood.</p> <p>解答例②</p> <p>Last summer I visited Tokyo with my family for the first time. First we went to Tokyo Disneyland and DisneySea. I met Mickey Mouse, and rode a lot of rides. The parks were very crowded, but we had a good time. After that we went to Tokyo Tower and also saw the palace where the emperor lives. I ate delicious ramen.</p>

金城大学短期大学部

〒924-8511

石川県白山市笠間町1200番地

〈お問い合わせ〉

 0120-276-150 TEL.076-276-5175 (直通)

FAX 076-275-4316 E-mail : nyushi@kinjo.ac.jp